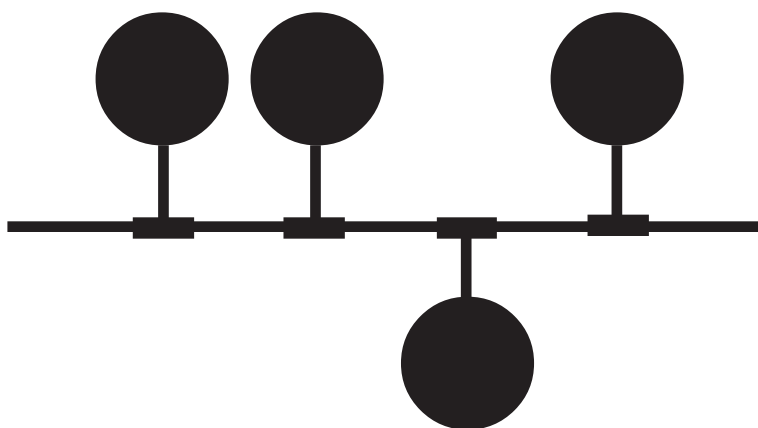


Network Interface Card

# REX-9886/87

ユーザーズマニュアル



1997年1月

第6.0版

**RATOC**  
ラトックシステム株式会社

---

# 目次

はじめに .....	1
ご注意 .....	1
インターフェイスカード取り扱い上の注意 .....	1
製品に関するお問い合わせ .....	2
第1章 REX-9886/87について .....	3
概要 .....	3
対応パソコン .....	3
付属品 .....	3
付属ソフトウェア .....	4
各部の名称とはたらき .....	4
ブロック図 .....	5
第2章 REX-9886/87のセットアップ .....	6
I/Oベースアドレスの調査 .....	7
I/Oアドレスの競合 .....	7
I/Oアドレスの確認 .....	7
割り込み番号の調査 .....	8
LANドライバに指定する割り込み番号について .....	8
割り込み番号の競合 .....	8
割り込み番号の確認 .....	9
PC-H98で使用する場合のセットアップについて .....	10
パソコン本体への取り付け .....	11
拡張バスカバーの取り外し .....	11
拡張バススロットへの挿入 .....	11
カードの固定 .....	12
起動(ブート)の確認 .....	12
割り込み番号の設定 .....	12
NICUTの起動 .....	12
割り込み番号の変更 .....	13
パソコンの再起動 .....	13
LANケーブルの接続 .....	14
REX-9886への接続 .....	14
REX-9887への接続 .....	15
ループバックテスト .....	16
割り込みを使用しないループバックテスト .....	16
割り込みを使用するループバックテスト .....	17
第3章 付録 .....	18
仕様 .....	18

---

このたびはREX-9886/87 ネットワークインターフェイスカードをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この製品はPC-98デスクトップシリーズでネットワーク環境を実現できるように設計されたC-BUS専用のLANインターフェイスカードです。各種ネットワークシステム(NetWare, LanManager, Windows95, WindowsNT等)に対応したドライバが付属しており、あらゆる環境で使用することができます。今後も各ドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-9886/87の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-9886/87を正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

また、添付ディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった情報がありますので合わせてご覧ください。最新のドライバについては弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

### ご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。

運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承ください。

本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

本製品および本製品付属のマニュアルに記載されている名称・会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

### インターフェイスカード取り扱い上の注意

インターフェイスカードの分解や改造等は絶対に行わないでください。

インターフェイスカードを落とす、傷つける、上に重いもの載せる等は行わないでください。

インターフェイスカードを抜くときは、コネクタ両側の突起を押しながら抜いてください。

ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。

モーターなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。

煙がでたり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。またパソコン本体からインターフェイスカードも取り外し、必ず販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

インターフェイスカードが濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。また、必ず販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

本製品を使用しない場合、次のような場所での保管は避けてください。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具の近く

温度差の激しい場所、チリやほこり、湿気の多い場所

振動や衝撃の加わる場所

スピーカ等の磁気を帯びたものの近く

## はじめに

---

### 製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問等がございましたら、下記まで電話、手紙またはFAXでお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル

TEL 06-633-6766

土日祝を除く月～金の10:00～17:00

FAX 06-633-3553

FAXでの受け付けは24時間行っております。

また、NIFTY Serveの以下のフォーラムでも受け付けております。

NIFTY Serve PC Vendor STATION E (SPCVE)  
電子会議室8番「ユーザサポート」

今後はインターネットのホームページでも最新の情報などをお届けしていく予定です。是非ご覧ください。

ラトックシステムのホームページアドレス  
<http://www.rexpccard.co.jp>

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記FAX番号までお送りください。折り返し弊社より電話またはFAXにて回答させていただきます。

また、ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

ご質問の内容によってテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合がありますのでご了承ください。

サポートに関する物品の送料等はお客様負担となりますので、予めご了承ください。



## 付属ソフトウェア

本製品に付属のフロッピーディスクには次のソフトウェアが含まれています。

ネットワークアプリケーション名	ドライバ名
NetWare4.11J/4.1J/3.12J/3.11J/NetWare Lite-J/Personal Netware用DOSODIドライバ	REX9886.COM
NetWare Client32ドライバ	REX9886.LAN
Windows95用NDISドライバ	REX9886.VXD
日本語LANマネージャ v2.1x DOSクライアント用NDISドライバ	ND9886.DOS
LANtastic6.0用NDISドライバ	ND9886LT.DOS
WindowsNT4.0用NDISドライバ	REX9886.SYS
WindowsNT3.5x用NDISドライバ	REX9886.SYS
パケットドライバ	PD9886.COM
自己診断ユーティリティプログラム	NICUT.EXE

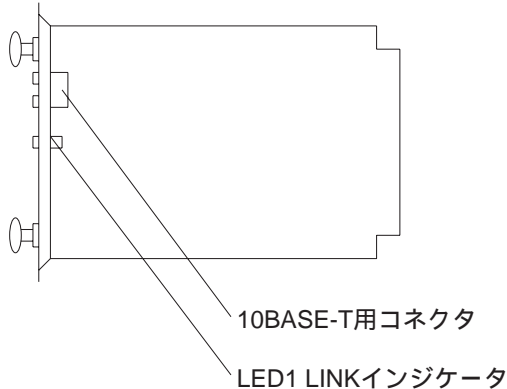
フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については、同ディスク内の READMEファイルをテキストエディタ等を使用して確認してください。

ドライバソフトウェアについては各ネットワークOS用インストールマニュアルに従ってご使用ください。

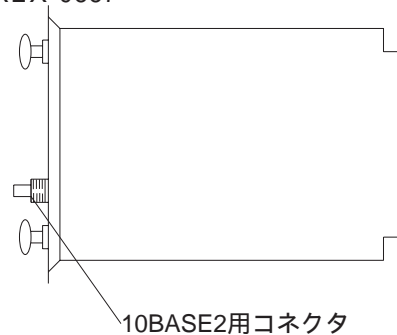
READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

## 各部の名称とはたらき

REX-9886



REX-9887



10BASE-Tコネクタ

ネットワークケーブル(10BASE-T規格)を接続します。

10BASE2コネクタ

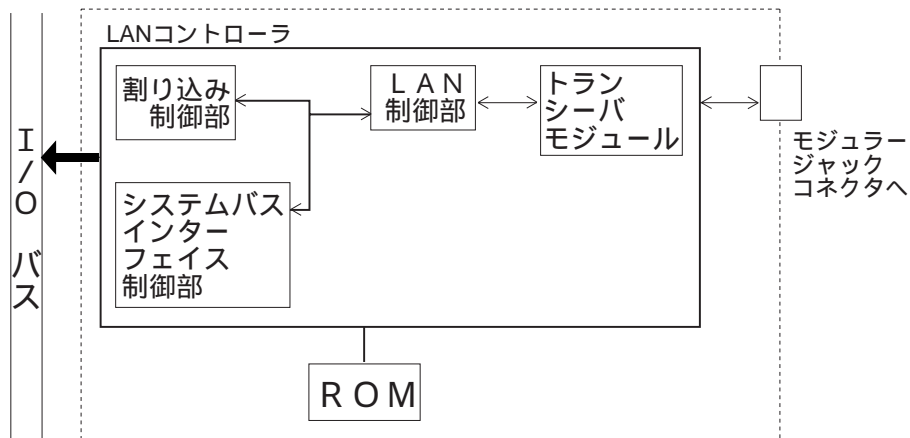
ネットワークケーブル(10BASE2規格)を接続します。

LED 1 LINKインジケータ

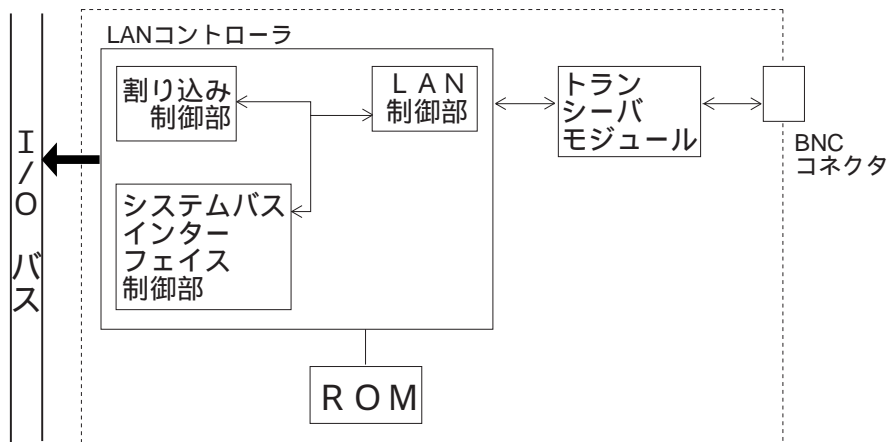
ツイストペアリンクが正常に接続され、通信可能時に点灯します。

ブロック図

REX-9886



REX-9887



ブロック図説明

LANコントローラ(MB86965A)

- ・LAN制御部
- ・割り込み制御部

REX-9886/87の各状態の割り込み通知機能を制御します。

- ・システムバスインターフェイス制御部

CPUとLAN制御部間のデータ転送を、高速かつ効率よく行ないます。

- ・トランシーバモジュール(REX-9886)

IEEE802.3(draft10)10BASE-Tの電気信号に変換します。

トランシーバモジュール(REX-9887)

IEEE802.3(draft10)10BASE2の電気信号に変換します。

ROM

グローバルアドレス(MACアドレス)を記憶しています。

### 第2章 REX-9886/87のセットアップ

REX-9886/87のインストールは以下の手順で行います。

#### 1、I/Oベースアドレスの調査

付属のユーティリティを使用してI/Oベースアドレスが使用可能か調査します。



#### 2、割り込み番号の調査

付属のユーティリティを使用して設定可能な割り込み番号を調査します。



#### 3、REX-9886/87の装着

REX-9886/87をパソコン本体へ装着します。



#### 4、割り込み番号の設定

REX-9886/87の割り込み番号を実際に設定します。



#### 5、LANケーブルの接続

使用するHUB等への接続を行います。詳しくは後述の「LANケーブルの接続」をご覧ください。



#### 6、ループバックテスト

付属のユーティリティを使用してパケットの送受信が可能かをテストします。

ご使用になる環境によりましては、本書の手順通りインストールできない場合もありますので予めご了承ください。



### I/Oベースアドレスの調査

REX-9886/87はI/Oアドレスの「54D0h～54DFhと55D0h～55DFh」を占有します。この値は固定で変更できませんので他のインターフェイスカードとの競合が発生しないよう注意してください。

### I/Oアドレスの競合

パソコン本体がEPSON PC-386Mの場合

EPSON PC-386M内蔵のスキャナーインターフェイスカードはI/OベースアドレスxxD0hを使用するため本製品とI/Oアドレスが競合します。本製品を使用するには、内蔵のスキャナーインターフェイスカードを無効に設定してください。(パソコン本体付属のマニュアルに従って設定してください)

EPSONハンディイメージスキャナGT-100Vを使用している場合

GT-100V付属の専用インターフェイスカードはI/OベースアドレスxxD0hを使用するため本製品とI/Oアドレスが競合します。本製品を使用するには、GT-100V付属の専用インターフェイスカードを取り外してください。

### I/Oアドレスの確認

REX-9886/87をパソコン本体に装着する前に、I/Oベースアドレスの競合について調べます。

(1).REX-9886/87付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

```
A:¥>C: <Enter>
C:¥>CD UTIL <Enter>
C:¥UTIL>NICUT <Enter>
```

カレントドライブをフロッピーを挿入したドライブに移動  
カレントディレクトリを「UTIL」に移動  
「NICUT.EXE」を起動

(2).メインメニューの「ハードウェア状況の確認」を選択します。そして「未使用I/Oポートアドレスの確認」を選択すると下の画面が表示されます。

REX LAN Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx  
未使用I/Oポートアドレスの確認

未使用のI/Oポートアドレスについて調べます

ネットワーク・インターフェイス・カードを装着するパソコン本体機種	PC-9801/21
装着予定のネットワーク・インターフェイス・カード	REX-9886/87/88

REX-9880/81/82

REX-9883

**REX-9886/87/88**

カーソルを移動させて項目を選択してください

カーソルキーを押して「REX-9886/87/88」を選択しリターンキーを押します。

(3).REX-9886/87/88を選択するとI/Oベースアドレスのリストが表示されます。

I/Oアドレスの調査を開始するために「実行」を選択します。

使用状況のフィールドが「使用済」の場合はREX-9886/87を装着することはできません。

### 割り込み番号の調査

割り込み番号は次の4種類が用意されており、その1つをソフトウェアによって選択し使用できません。

INT0(IRQ3)/ INT1(IRQ5)/ INT2(IRQ6)/ INT5(IRQ12)

### LANドライバに指定する割り込み番号について

PC-98では一般的に拡張インターフェイスが使用する割り込み信号は、拡張バス割り込み信号名の「INT0～INT6」で指定します。ところがNetWareやLANマネージャでは割り込みコントローラの割り込み信号名を「IRQ0～IRQF」で指定します。したがって本製品で提供される各LANドライバも「IRQ番号」の値で指定するように統一されています。

各ドライバに指定する割り込み番号は必ず下表のIRQ番号で記述してください。

PC-98拡張バス割り込み信号名	割り込み番号
INT0	IRQ3
INT1	IRQ5
INT2	IRQ6
INT5	IRQ12

### 割り込み番号の競合

本製品と割り込み番号が競合する可能性のあるデバイスは以下の通りです。

PC-98拡張バス割り込み信号名	デバイス名
INT0(IRQ3)	本体内蔵FAXモデム、本体内蔵SCSI
INT1(IRQ5)	赤外線ポート、2nd CCU
INT2(IRQ6)	キャプチャーボード、本体内蔵ISDNボード
INT5(IRQ12)	本体内蔵サウンド

上記デバイスが組み込まれている場合は、それらの機能を無効にするか、使用する割り込み番号を変更してください。詳しい設定についてはパソコン本体の取り扱い説明書をご覧ください。

### 割り込み番号の確認

REX-9886/87をパソコン本体に装着する前に、カードが使用する割り込み番号の競合について調べます。

(1)「NICUT.EXE」プログラムでメインメニューの「ハードウェア状況の確認」を選択しさらに「割り込み番号の確認」を選びます。そしてネットワークインターフェイスカードのリストから「REX-9886/87/88」を選択すると次の画面が表示されます。

R E X L A N Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx  
割り込み番号の確認

未使用の割り込み(IRQ)番号について調べます  
ネットワークインターフェイスカードを装着するパソコン本体機種 PC-9801/21  
装着予定のネットワークインターフェイスカード REX-9886/87/88

下の各、割り込みについて調べます **実行** 中止

割り込み番号	使用状況
IRQ3 (INT0)	未調査
IRQ5 (INT1)	未調査
IRQ6 (INT2)	未調査
IRQ12 (INT5)	未調査

(2)割り込みの調査を開始するために「実行」を選択します。

使用状況のフィールドが使用済の割り込み番号は確実に競合するため使用できません。

#### 注意

このプログラムでは他のインターフェイスカードが使用しているであろう割り込み番号の調査をソフトウェアのみで行なっています。このため、他のインターフェイスカードの割り込み番号がハードウェア設定されていても、インターフェイスカードを制御するBIOSやプログラムが割り込みの使用を開始していなければ使用状況には使用済とは表示されません。したがって「使用済」と表示されていない割り込み番号でも使用できない場合がありますのでご注意ください。

(3).INT1(IRQ5)が使用済になっている場合について

REX-9886/87は製品出荷時にINT1(IRQ5)を使用する設定となっているため、すでにINT1(IRQ5)を使用しているカードと割り込みの競合が発生し、そのままではパソコン本体に装着できません。これを回避するために次の処理を行なってください。

- a. すでにINT1(IRQ5)を使用しているカードの割り込み番号を一度別の番号に変更してください。
- b. 次に後で説明するパソコン本体への取り付け方法に従って、REX-9886/87をパソコン本体に装着してください。
- c. そして後で説明する割り込み番号の設定方法に従って、REX-9886/87の割り込み番号をINT1(IRQ5)以外の使用可能な番号に変更してください。
- d. 最後に、先にINT1(IRQ5)から別の番号に変更していたカードの割り込み番号を元のINT1(IRQ5)に戻します。

## 第2章 REX-9886/87のセットアップ

---

### PC-H98で使用する場合のセットアップについて

REX-9886/87をPC-H98で使用する場合、セットアップ情報を下記のように入力してください。  
オプションボード構成機器の変更でスロットを選択した後、下線部を入力または選択してください。

型番 : REX-9886(または87)

ボード名称 : LANインターフェイスボード

割り込みチャンネル / モード : ch0 INT1 / エッジ.....(1)

I/Oアドレス / 割付 : 領域0 54D0H / 54DFH / 連続  
: 領域1 55D0H / 55DFH / 連続

(1).割り込みチャンネルのch0のみ、INT0,INT1,INT2,INT5のうちからひとつを選択してください。

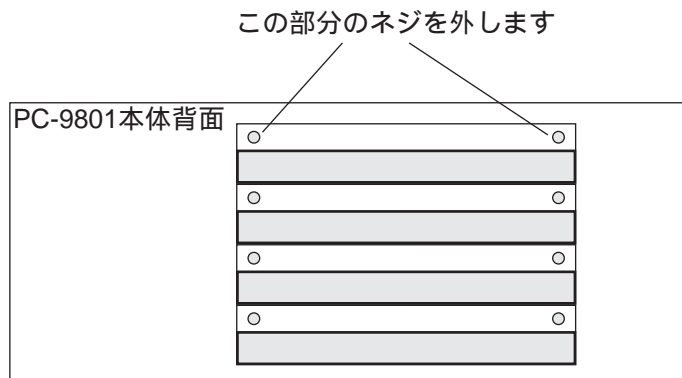
割り込みチャンネルのch1,DMAチャンネル、I/Oアドレスの領域2,3、メモリアドレス / サイズの欄は入力しないで空白のままにしておいてください。

### パソコン本体への取り付け

REX-9886/87を拡張バススロットに装着する前に、必ずパソコン本体の電源をオフにしてください。電源が入ったままで作業すると、本体およびネットワークインターフェイスカードの故障の原因となるので、絶対に行なわないでください。

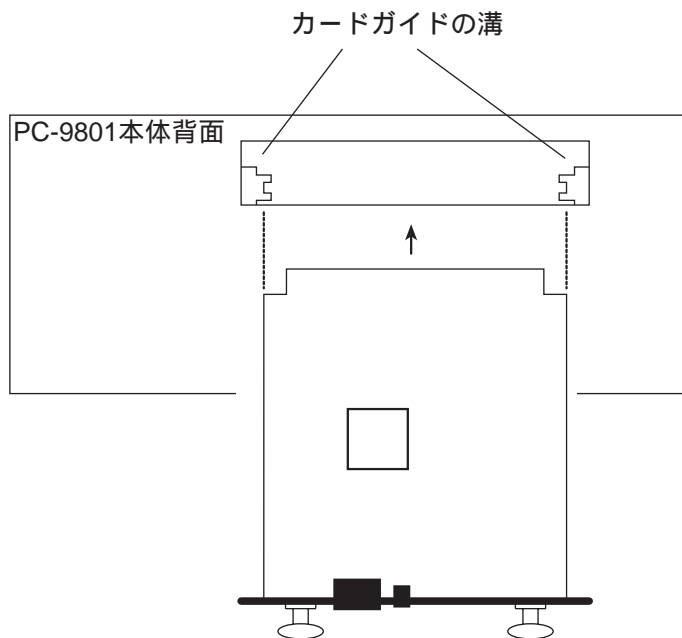
### 拡張バスカバーの取り外し

以下に示す2箇所のネジを外し、拡張バススロットカバーを取り外します。



### 拡張バススロットへの挿入

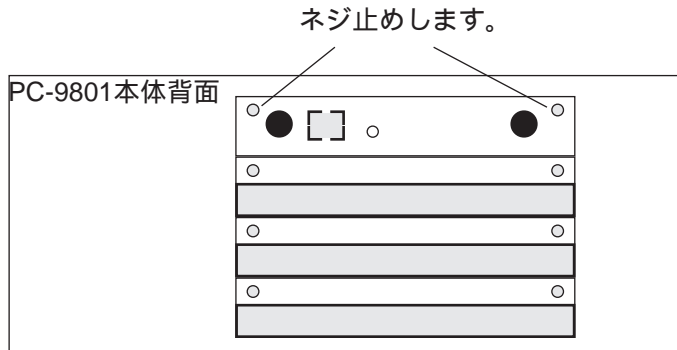
部品実装面を上にし拡張バススロット内にあるカードガイドの溝(左右についている)に沿って挿入します。カードがほとんど入った時点で奥のコネクタに当たりますので、そこからさらに力を加え最後まで強く押し込んでください。(この時点でカードが完全に拡張バススロット内に挿入されるはずですが。)



## 第2章 REX-9886/87のセットアップ

### カードの固定

拡張バススロットカバーを止めていたネジを使い、カードを完全にネジ止めします。



### 起動(ブート)の確認

パソコン本体の電源を入れて正常に起動することを確認します。パソコンが正常に起動しない場合は、すみやかに電源を落として次のことを確認してみてください。

- ネットワークインターフェイスカードが拡張バススロットの奥までしっかりと挿入されているか
- ネットワークインターフェイスカードとI/Oアドレスが競合するカード等が装着されていないか
- ネットワークインターフェイスカードの使用する割り込み番号と同じ番号を使用しているカード等が装着されていないか

### 割り込み番号の設定

REX-9886/87が使用するI/Oアドレス・割り込み番号を確認・変更します。

### NICUTの起動

REX-9886/87付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

A:¥>C: <Enter>

C:¥>CD UTIL <Enter>

C:¥UTIL>NICUT <Enter>

カレントドライブをフロッピーを挿入したドライブに移動

カレントディレクトリを「UTIL」に移動

「NICUT.EXE」を起動

メインメニューの「ハードウェアの状況の確認」「REX-9886/87/88のカード設定」を選択すると次の画面が表示されます。

```
REXLAN Series Network Interfece Card Utility (NICUT.EXE)   Version x.xx
                                                                REX - 9886 / 87 / 88のカード設定
現在設定されている割り込み番号値      IRQ5 (INT1)
次回リセット後の割り込み番号値      IRQ5 (INT1)

設定する割り込み番号を選択してください <ESC> で終了します。

  割り込み番号      使用状況
  IRQ3 (INT0)      使用済
  IRQ5 (INT1)      -----
  IRQ6 (INT2)      -----
  IRQ12 (INT5)     -----
```

次回リセット後の割り込み番号値が「使用済」になっている場合は、他の割り込みを選択してください。特に変更の必要がなければ、<ESC>キーを押してこの項目を終了してください。

### 割り込み番号の変更

割り込み番号を変更する場合、カーソルキーで「使用済」以外の割り込み番号を選択します。

割り込み番号を選択してリターンキーを押すと、変更しているカードの「書き込み変更値」の欄の値が変わります。

必要な値を設定し下のメッセージが表示されたら、書き込む値を確認して問題がなければ「書き込み」を選択します。

```

REXLAN Series Network Interfece Card Utility (NICUT.EXE)   Version x.xx
                                                                REX - 9886 / 87 / 88のカード設定
現在設定されている割り込み番号値      IRQ5 (INT1)
次回リセット後の割り込み番号値      IRQ5 (INT1)
これから設定する割り込み番号値      IRQ6 (INT2)

書き込んでよろしいですか              書き込み 再選択 中止

  割り込み番号      使用状況
  IRQ3   (INT0)      使用済
  IRQ5   (INT1)      -----
  IRQ6   (INT2)      -----
  IRQ12  (INT5)      -----
    
```

「書き込み」を選択してリターンキーを押すと変更した値がカードに書き込まれます。正常に書き込まれると、変更したカードの「リセット後」の欄の値が変わります。

```

現在設定されている割り込み番号値      IRQ5 (INT1)
次回リセット後の割り込み番号値      IRQ6 (INT2)
    
```

その後、「終了」を選択して終了すると下のメッセージが表示されます。

```

新たに設定した割り込み番号でREX-9886/87/88を動作させるために
必ずパソコンの本体をリセットしてシステムを再起動してください
    
```

### パソコンの再起動

最後に終了を選択した後、プログラムを終了させて書き込んだ値を有効にするためパソコン本体をリセットして再起動してください。

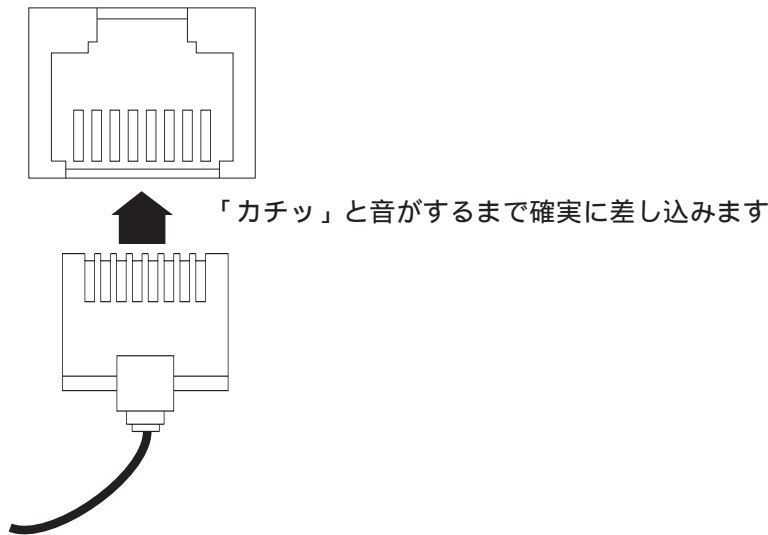
**注意**  
ソフトウェアリセットでは設定した値が有効にならないパソコンがあります。必ずパソコン本体のリセットスイッチを押すか、電源を切ってしばらくおいて電源を再投入する方法でリセットしてください。

### LANケーブルの接続

#### REX-9886への接続

##### (1).10BASE-Tコネクタへの接続と固定

HUBに接続されている10BASE-Tケーブルのモジュラープラグ部を、ネットワークインターフェイスカードの10BASE-Tコネクタに接続します。最後まで差し込まれるとそのままケーブルは固定されます。

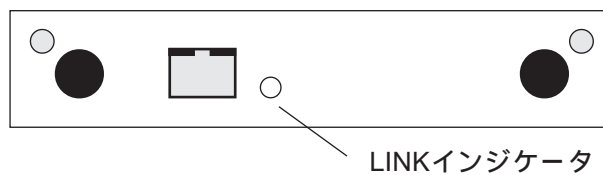


#### 注意

最後まで確実に差し込まないとケーブルが抜ける可能性がありますのでご注意ください。

##### (2).LINKインジケータの確認

カード背面パネルのLINKインジケータLEDが点灯していることを確認します。



リピータまたはHUBからの信号がネットワークインターフェイスカードに正しく入力されていない場合は、LEDが点灯しませんので次のことを確認してみてください。

- 10BASE-Tケーブルの両端がネットワークインターフェイスカードおよびリピータまたはHUBの10BASE-Tコネクタに正しく挿入されているか
- 10BASE-Tケーブルの結線が規格に合ったものか
- 接続先のリピータまたはHUBの電源がONになっているか

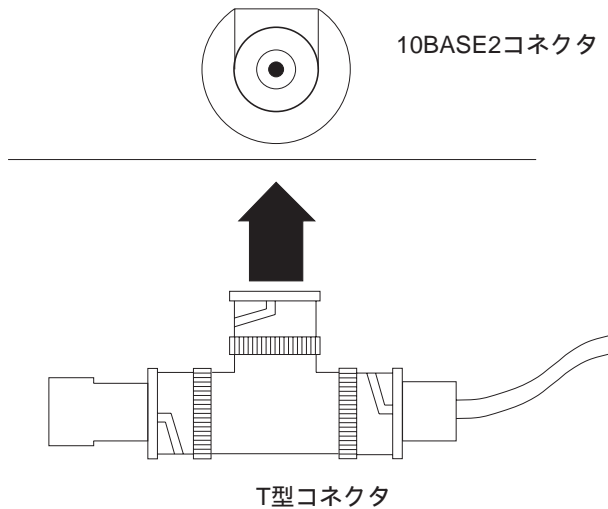
LEDが点灯していなければネットワークの使用および以降の動作確認テストが行なえません。必ずLEDが点灯した上で次にお進みください。



### REX-9887への接続

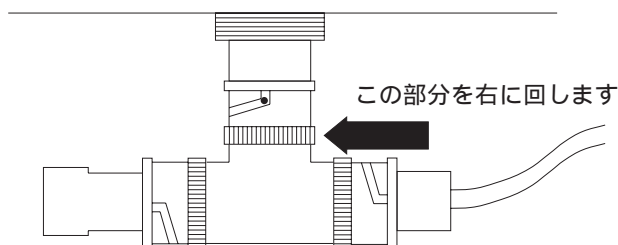
#### (1).10BASE2コネクタへの接続

10BASE2ケーブルを接続したT型コネクタ部を、ネットワークインターフェイスカードの10BASE2(BNC)コネクタに接続します。



#### (2).ケーブルの固定

ネットワークインターフェイスカードと接続されているコネクタ部のギザギザの部分を中心に右に回し、10BASE2ケーブルが抜けないように固定します。



#### (3).ターミネータについて

ターミネータ(終端抵抗)は、送信データの電気信号の反射によるエラーを防止します。

ターミネータは必ずネットワークの両端に接続してください。

ターミネータが接続されていない場合は、ネットワークが使用できませんのでご注意ください。

接地(アース)用のケーブルが付属したターミネータは、絶対に使用しないでください。

ネットワークインターフェイスカードはアイソレーションされているため接地の必要はありません。接地されたターミネータを使用した場合、逆に故障の原因となります。

## 第2章 REX-9886/87のセットアップ

### ループバックテスト

#### 割り込みを使用しないループバックテスト

(1). REX-9886/87付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

```
A:¥>C: <Enter>
C:¥>CD UTIL <Enter>
C:¥UTIL>NICUT <Enter>
```

カレントドライブをフロッピーを挿入したドライブに移動  
カレントディレクトリを「UTIL」に移動  
「NICUT.EXE」を起動

(2).メインメニューの「ネットワーク・インターフェイス・カードの動作確認」を選択します。そして「ループバックテスト」を選択すると下の画面が表示されます。

R E X L A N Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE) Version x.xx		ループバックテスト	
パソコン本体機種	PC-9801/21	カードの設定	
ネットワーク・インターフェイス・カード		ループバックテスト	
I/Oベースアドレス		送信間隔(0-60)	0秒
MACアドレス		送信回数(0-9999)	100回
割り込み			
メニューを選択してください			

(3).最初に「カードの選択」を選択します。下のカードリストが表示されたら「REX-9886/87/88」を選択します。

ネットワーク・インターフェイス・カードを選択してください	
カード名称	
REX-9880/81/82	
REX-9883	
<b>REX-9886/87/88</b>	
REX-9821	
REX-9822	

(4).次にI/Oベースアドレスが表示されますが「54D0」固定のためそれを選択します。そして割り込み番号は「なし」を選択します。

割り込み番号を選択してください		
カード名称	ベースアドレス	割り込み番号
REX-9880/81/82	<b>54D0h</b>	00:C0:D0:98:07:E2
REX-9883		
<b>REX-9886/87/88</b>		
REX-9821		
REX-9822		
		IRQ3 (INT0) 使用済
		IRQ5 (INT1) 選択不可
		IRQ6 (INT2) 選択可
		IRQ12 (INT5) 選択不可
		<b>なし</b>

(5).次に「ループバックテスト」を選択してテストを開始します。

```

R E X L A N Series  Network Interface Card Utility (NICUT.EXE)  Version x.xx
                                         ループバックテスト
パソコン本体機種      PC-9801/21          TX TimeOut 0000  Rx TimeOut 0000
ネットワーク・インタ-フェイス・カード REX-9886/87/88    TX ShortPKT0000 Rx ShortPKT 0000
I/Oベースアドレス    54D0h             16 Colision0000 Rx OverFlow 0000
MACアドレス          00:C0:D0:98:07:E2 BusWritEr 0000  AligmentEr 0000
割り込み番号        なし              CRC Error 0000  DataCompEr 0000
-----
                送信状態 A0   受信状態 80   送信間隔 0 秒   送信回数 2/100回
-----
96/07/06 15:40:10 00001 a quick brown fox jumps over the lazy dog.0123456789
96/07/06 15:40:10:00002 0123456789.A QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG
    
```

送信回数で指定された回数分テストを行うと終了します。

### 割り込みを使用するループバックテスト

(1).再び「カードの選択」を選択して、カードに設定した割り込み番号を選択します。

(2).次に「ループバックテスト」を選択して、テストを開始します。

```

R E X L A N Series  Network Interface Card Utility (NICUT.EXE)  Version x.xx
                                         ループバックテスト
パソコン本体機種      PC-9801/21          TX TimeOut 0000  Rx TimeOut 0000
ネットワーク・インタ-フェイス・カード REX-9886/87/88    TX ShortPKT0000 Rx ShortPKT 0000
I/Oベースアドレス    54D0h             16 Colision0000 Rx OverFlow 0000
MACアドレス          00:C0:D0:98:07:E2 BusWritEr 0000  AligmentEr 0000
割り込み番号        IRQ3              CRC Error 0000  DataCompEr 0000
-----
                送信状態 A0   受信状態 80   送信間隔 0 秒   送信回数 2/100回
-----
96/07/06 15:40:10 00001 a quick brown fox jumps over the lazy dog.0123456789
96/07/06 15:40:10:00002 0123456789.A QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG
    
```

以上のテストで正常動作が確認されれば、ハードウェア側のインストールは完了です。

そのまま、使用する各ネットワークOSに対応した別冊のインストールガイドに従ってLANドライバ等のインストールを進めてください。

第3章 付録

仕様

	REX-9886	REX-9887
入出力ポート	10BASE-T ×1	10BASE2 ×1
入出力コネクタ	モジュラージャックコネクタ (RJ-45) インピーダンス 100	BNCコネクタメス型 インピーダンス 50
最大消費電圧・電流	+5V 250mA	+5V 350mA
本体CPUとのインターフェイス	16bit I/O制御方式	
バッファ容量	32Kバイト(カード上)	
I/Oアドレス	54D0h ~ 54DFhと55D0h ~ 55DFhを占有	
割り込み	INT0(IRQ3), INT1(IRQ5), INT2(IRQ6), INT5(IRQ12)より選択	
グローバルアドレス (MACアドレス)	カード上EEPROMに記憶 アドレスを印刷したシールがカード上に貼られています。	

REX-9886/87質問用紙(拡大コピーの上ご記入ください)

## ユーザ情報記入欄

会社名				
所属				
氏名				
住所	〒			
電話番号			FAX番号	
製品型番	REX-9886	REX-9887	シリアル番号	
販売店名			購入年月日	年 月 日

## パソコン環境状況記入欄&amp;質問内容

パソコン機種名						
使用OS	MS-DOS ver	Windows95	WindowsNT	3.5	3.51	4.0
ネットワークOS	Version					
質問内容						
添付資料:インストール等に関するご質問の場合は、下記のデータが必要です。送付して頂いたデータを チェックしてください。						
CONFIG.SYS	AUTOEXEC.BAT	SYSTEM.INI	NET.CFG	PROTOCOL.INI		
デバイスマネージャのシステム概要			WindowsNT診断プログラムのレポート			

デバイスマネージャのシステム概要(Windows95のみ)

- (1).コントロールパネルのシステムのデバイスマネージャから「印刷(N)...」ボタンを押します。
- (2).レポートの種類に「全てのデバイスとシステムの概要」を選択して「OK」ボタンを押します。

WindowsNT診断プログラムのレポート(WindowsNTのみ)

- (1).WindowsNT診断プログラムを起動し、「ファイル」メニューから「レポートの印刷(N)...」ボタンを押します。
- (2).ドライバ、デバイス、IRQ/ポート、ネットワークをチェック選択して「OK」ボタンを押します。